

就労継続支援A型事業所におけるスコア表（全体）

事業所名	スマイル藤森A（エース）
住 所	京都市伏見区深草飯食町837番地8
電話番号	075-645-8977

事業所番号	2610981637
管理者名	笹原静栄
対象年度	令和6年度

（Ⅰ）労働時間		
①1日の平均労働時間が7時間以上		65点
②1日の平均労働時間が6時間以上7時間未満		
③1日の平均労働時間が5時間以上6時間未満	○	
④1日の平均労働時間が4時間30分以上5時間未満		
⑤1日の平均労働時間が4時間以上4時間30分未満		
⑥1日の平均労働時間が3時間以上4時間未満		
⑦1日の平均労働時間が2時間以上3時間未満		
⑧1日の平均労働時間が2時間未満		
①90点 ②80点 ③65点 ④55点 ⑤40点 ⑥30点 ⑦20点 ⑧5点		点

（Ⅱ）生産活動		
①過去3年の生産活動収支がそれぞれ当該各年度に利用者に支払う賞金の総額以上		40点
②過去3年の生産活動収支のうち前年度及び前々年度の各年度における生産活動収支がそれぞれ当該各年度に利用者に支払う賞金の総額以上		
③過去3年の生産活動収支のうち前年度における生産活動収支のみが前年度に利用者に支払う賞金の総額以上	○	
④過去3年の生産活動収支のうち前々年度における生産活動収支のみが前々年度に利用者に支払う賞金の総額以上		
⑤過去3年の生産活動収支のうち前年度及び前々年度の各年度における生産活動収支がいずれも当該各年度に利用者に支払う賞金の総額未満		
⑥過去3年の生産活動収支がいずれも当該各年度に利用者に支払う賞金の総額未満		
①60点 ②50点 ③40点 ④20点 ⑤-10点 ⑥-20点		点

（Ⅲ）多様な働き方（※）		
①免許・資格取得、検定の受検勤奨に関する制度		15点
就業規則等で定めている	○	
②利用者を職員として登用する制度		
就業規則等で定めている	○	
③在宅勤務に係る労働条件及び服務規律		
就業規則等で定めている	○	
④フレックスタイム制に係る労働条件		
就業規則等で定めている	○	
⑤短時間勤務に係る労働条件		10点
就業規則等で定めている	○	
⑥時差出勤制度に係る労働条件		
就業規則等で定めている	○	
⑦有給休暇の時間単位取得又は計画的付与制度		10点
就業規則等で定めている	○	
⑧傷病休暇等の取得に関する事項		10点
就業規則等で定めている	○	
小計（注1）		8点

（※）8項目の合計点に応じた点数（注1）5以上：15点、4～3：5点、2点以下：0点

（Ⅳ）支援力向上（※）		
①研修計画に基づいた外部研修会又は内部研修会		15点
参加した職員が1人以上参加している	○	
②研修、学会等又は学会誌等において発表		
1回以上の場合	○	
③視察・実習の実施又は受け入れ		
いずれか一方のみの取組を行っている	○	
④販路拡大の商談会等への参加		
1回以上の場合	○	
⑤職員の人事評価制度		5点
人事評価結果に基づき定期に昇給を判定する制度を設け、全ての職員に周知している	○	
⑥ピアサポーターの配置		
ピアサポーターを職員として配置している		
⑦第三者評価		5点
過去3年以内の福祉サービス第三者評価を受審しており、結果を公表している。		
⑧国際標準化規格が定めた規格等の認証等		5点
都道府県知事が適当と認める国際標準化規格が定めた規格その他これに準ずるものの認証を受けている		
小計（注2）		5点
（※）8項目の合計点に応じた点数（注2）5以上：15点、4～3：5点、2点以下：0点		

（Ⅴ）地域連携活動		
地域の事業者と連携した付加価値の高い商品開発、企業や官公庁等での生産活動等地域社会と連携した活動を行い、その結果をインターネット等により公表している	○	10点
1事例以上ある場合：10点		

（Ⅵ）経営改善計画		
経営改善計画の提出を求められていない。または、経営改善計画の提出を求められているが、指定された期日までに提出している。	○	0点
期限内に提出していない場合：-50点		

（Ⅶ）利用者の知識・能力向上		
前年度において、就労継続支援A型事業所等が利用者の知識及び能力の向上に向けた支援を行い、当該支援の具体的な内容を記載した報告書を作成し、インターネットの利用その他の方法により公表している。	○	10点
1事例以上ある場合：10点		

項目	点数							
労働時間	5点	20点	30点	40点	55点	65点	80点	90点
生産活動	-20点	-10点	20点	40点	50点	60点		
多様な働き方	0点	5点	15点					
支援力向上	0点	5点	15点					
地域連携活動	0点	10点						
経営改善計画	0点	-50点						
利用者の知識・能力向上	0点	10点						

合計
155点 / 200点

就労継続支援A型事業所におけるスコア表（実績Ⅰ～Ⅳ、Ⅵ）

(Ⅰ) 労働時間

前年度（ 6年度）

雇用契約を締結していた全ての利用者における延べ労働時間	13,048	時間	雇用契約を締結していた延べ利用者数	2,571	人	利用者の1日の平均労働時間数	5	時間
-----------------------------	--------	----	-------------------	-------	---	----------------	---	----

(Ⅱ) 生産活動

会計期間（ 1月～ 3月）

前々々年度（ 4年度）

生産活動収入から経費を除いた額	9,526,689	円	利用者に支払った賃金総額	13,551,269	円	収支	▲4,024,580	円
-----------------	-----------	---	--------------	------------	---	----	------------	---

前々年度（ 5年度）

生産活動収入から経費を除いた額	12,690,031	円	利用者に支払った賃金総額	15,803,709	円	収支	▲3,113,678	円
-----------------	------------	---	--------------	------------	---	----	------------	---

前年度（ 6年度）

生産活動収入から経費を除いた額	14,157,540	円	利用者に支払った賃金総額	13,583,908	円	収支	573,632	円
-----------------	------------	---	--------------	------------	---	----	---------	---

(Ⅲ) 多様な働き方

前年度（6年度）における取組（全体表「(Ⅲ) 多様な働き方」の各項目において「就業規則等で定めている」と選択した場合に記載）

①免許・資格取得、検定の受検勧奨に関する制度

◎免許・資格取得、検定の受検勧奨に関する制度を定めている ☒

②利用者を職員として登用する制度

◎利用者を職員として登用する制度を定めている ☒

③在宅勤務に係る労働条件及び服務規律

在宅勤務に係る労働条件及び服務規律に関する制度を定めている ☒

④フレックスタイム制に係る労働条件

◎フレックスタイム制に係る労働条件を定めている ☒

⑤短時間勤務に係る労働条件

◎短時間勤務に係る労働条件を定めている ☒

⑥時差出勤制度に係る労働条件

◎時差出勤制度に係る労働条件を定めている ☒

⑦有給休暇の時間単位取得又は計画的付与制度

◎有給休暇の時間単位取得または、計画的付与制度を定めている ☒

⑧傷病休暇等の取得に関する事項

◎傷病休暇等の取得に関する事項を定めている ☒

(Ⅳ) 支援力向上

前年度（6年度）における取組（全体表「(Ⅳ) 支援力向上」の各項目に取組あり選択とした場合に記載）

①研修計画に基づいた外部研修会又は内部研修会

◎研修計画を策定している ☒
 ◎外部研修、もしくは内部研修を1回以上実施している。 ☒
 ※研修名 令和6年度京都市虐待防止研修
 研修講師 松波めぐみ様、樋口幸雄様
 実施日・受講者数 2月 5日 80人

②研修、学会等又は学会誌等において発表

◎研修、学会等又は学会誌等において1回以上発表している ☒
 ※研修、学会等名 企業診断士実務従事研修
 実施日 11月 6日
 ※学会誌等名
 掲載日 月 日
 発表テーマ 企業診断士協会様へ事業説明と運営状況発表

③視察・実習の実施又は受け入れ

◎先進的事業者の視察・実習の実施している
 もしくは、他の事業所の視察・実習を受け入れている ☒
 ※先進的事業者名 株式会社絆様（視察）
 実施日/参加者数 7月 9日 2人
 ※他の事業所名 京都ライフサポート協会様（実習受入）
 実施日/参加者数 11月 28日 1人

④販路拡大の商談会等への参加

◎販路拡大の商談会や展示会等へ1回以上参加している。 ☒
 ※商談会等名 ぶらり嵐山様企画展
 主催者名 京都ほっとはあとセンター様
 日時 10月 1日～
 内容 約1ヶ月間、企画展示への参加

⑤職員の人事評価制度

◎職員の人事評価制度を整備している ☒
 ◎当該人事評価制度を周知している ☒
 人事評価制度の制定日 R2年 3月 1日
 人事評価制度の対象職員数 3名
 うち昇給・昇格を行った者 3名
 当該人事評価制度の周知方法 掲示・文書

⑥ピアサポーターの配置

◎ピアサポーターを配置している ☐
 ◎当該ピアサポーターは「障害者ピアサポーター研修」を受講している ☐
 ※配置期間 月 日～月 日
 就業時間
 職務内容

⑦第三者評価

◎前年度末日から過去3年以内に福祉サービス第三者評価を受けている ☐
 ※評価を受けた日 月 日
 第三者評価機関

⑧国際標準化規格が定めた規格等の認証等

◎ISOが制定したマネジメント規格等の認証等を受けている ☐
 ※認証を受けた日 月 日
 規格等の内容

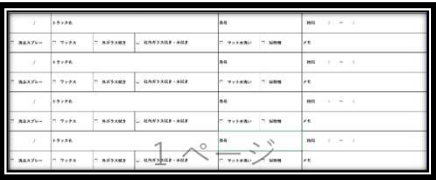
(Ⅵ) 経営改善計画

◎指定権者である都道府県（指定都市・中核市）へ、経営改善計画書へ提出した。 ☒
 ※受理日 6年 6月 27日

就労継続支援 A 型事業所における利用者の知識・能力向上に係る実施状況報告書

事業所名	スマイル藤森A（エース）	事業所番号	2610981637
住 所	京都市伏見区深草飯食町837番地8	管理者名	笹原静栄
電話番号	075-645-8977	対象年度	令和 6 年度

利用者の知識・能力向上に係る実施概要

<活動内容> 活動場所 新晃自動車株式会社様 実施日程 令和 6 年4月12日～4月26日 実施した利用者の知識・能力向上に係る実施の概要 利用者数 等 整備工場内での大型車洗車方法に関する研修・4名	<活動の様子> 活動の様子の写真 成果物の写真 活動内容の追加コメント    
<目的> 利用者の知識・能力向上に係る実施のねらい 車種別の工程の理解、洗車作業内容の効率化 利用者にとってのメリット 自らの次の動きを見据えて作業に取り組める力がつく	 ↑作業手順マニュアルの他、 作業確認チェック表を作成し メンバーそれぞれで記入できるようにした
<成果> 実施した結果 作業チェックリストも作成し、作業の漏れが無く、 様々な車種にも対応できるようになった 得られた成果 チームで動く中で、自分や周りが次にどう動くか理解し、 お互いに安全に気を配り、作業のコツも掴むことが出来た 課題点 徐々に台数を増やせるように、工場の方との連携を更に強化する	 

連携先の企業や事業所等の意見または評価

連携した結果に対する意見または評価 開始時は職員の指示を待つ場面が多かったが、作業研修を続ける内に自ら行動できるようになってきたと感じました 安全に、丁寧に綺麗に仕上げるためにも、厳しい事も伝えるかもしれないが、頑張ってください 今後の連携強化に向けた課題 限られた時間でも、事故の無いよう、作業内容、引継ぎ事項など、相互でしっかりと確認し、伝える事	
連携先企業（担当者）	新晃自動車 伊藤様

利用者からの意見・評価

参加した利用者からの意見・評価 ・今までやったことのない仕事で、初めは緊張しましたが、スタッフや工場の方のサポートもあり安心して出来ました ・大きな車が多く、高い所など難しい時もありましたが、慣れてくると綺麗にする事が出来るようになりました ・ワックスの拭き上げがとても難しいですが、チームのメンバーと確認しあって磨けるようになりました ・チェック表があると、作業途中や最終確認の時も、ここは出来たかなと皆で確認する事が出来て良かったです
--

就労継続支援 A 型事業所における地域連携活動実施状況報告書

事業所名	スマイル藤森 A（エース）	事業所番号	2610981637
住 所	京都市伏見区深草飯食町837番地8	管理者名	笹原静栄
電話番号	075-645-8977	対象年度	令和 6 年度

地域連携活動の概要

<活動内容> 活動場所 ぶらり嵐山様 実施日程 令和6年5月3日 実施した生産活動・施設外就労の概要 自社ファームの野菜生産・収穫・販売 利用者数 等 3名	<活動の様子> 活動の様子の写真 成果物の写真 活動内容の追加コメント   晴天の嵐山は海外の方であふれていました    自主製品も 沢山購入して いただきました 
<目的> 地域連携活動のねらい ・海外の方が多い地域で、日本の事業所の取組を知っていただける機会 地域にとってのメリット：いつもとは違う試みでの集客と地域活性化 対象者にとってのメリット： ・安心安全な食物と製品を適正価格で対面で説明を受け購入できる	
<成果> 実施した結果 ・GW中で特に海外の方の来客数が予想をはるかに上回る盛況ぶりだった 得られた成果 ・メンバー1人1人が海外の方に言葉、ジェスチャー、翻訳アプリ等で一生懸命に商品の良さを伝えようと努力する事が出来た 課題点 ・初めての参加だったため、商品準備や片付けに手間取ってしまった	

連携先の企業等の意見または評価

連携した結果に対する意見または評価 ・通常は委託販売での事業所との関りが多いが、このようなイベントで、店舗事業の活動を知ってもらい、実際にお客様と対話する機会を持ってもらう事で、今後の製品作りにも活かしていただきたい。 今後の連携強化に向けた課題 ・今後もコンスタントに製品を納品しながら、各種イベントへの参加にも取り組む。 今回は飲食販売面での連携不足があったが、次回は事前の確認を取り合えるようにする。			
連携先企業名	ぶらり嵐山様	担当者名	店長様